

校長通信

第6号 令和5年10月11日

校長室に卒業生

7月末に、今年3月に卒業した杉崎康名さんが校長室を訪ねてきました。現在京都にある同志社大学法学部政治学科の1年生です。

同志社大学には、2年生に野球部出身の大迫陽斗君や3年生には横山美永久さんがいます。

杉崎さんは、高校在学中PBA（ハワイ）に6週間留学した生徒で、今の2・3年生は、留学の報告を聞いています。PBAの留学には、今年も3年生の加藤颯さんが参加しました。

ゼミは国際政治学者の村田晃嗣教授（「そこまで言って委員会」に出演しています）を希望しているようですが、有名なだけあって、やはり大人気で、200人ほどのゼミ生がいるそうです。（ちなみに、3年生の横山さんは、この村田先生のゼミに所属しています。）

英語のクラスはレベル2ということでした。大学には帰国子女も多く、レベル1は非常にレベルが高いとのこと。今ラーメン屋でアルバイトをしていて、客の8割が外国人なので、料理の説明がうまくいかないとき、高校で英語の語彙力をつけておけばよかったと今になって後悔していると言います。

また、京都に住むのであれば、日本史の知識があれば、町歩きがもっと楽しめるのにも話していました。

ところで、同志社大学の野球部所属の大迫君ですが、「同志社大学硬式野球部」公式HPにしっかりと写真付きでその活躍が紹介されています。

HPの記事にはこうあります。（写真は著作権の関係で掲載できません。）

「九回表、リーグ戦初登板の大迫（2・小樽双葉）がマウンドに立ちます。初登板ながら相手打線から三振も奪い、三者凡退で攻撃につなげます。」

【写真：攻撃では右二塁打を放ち、投打にわたり活躍を魅せた大迫】



令和7年度からの共通テスト

今の2年生から、共通テストが大きく変わります。解答時間の変更はもちろん、「情報I」が加わります。（扱いについては混乱気味ですが）

新学習指導要領では知識の習得だけでなく、実社会で応用するための思考力・判断力・表現力をバランスよく育むことが求められていることから、共通テストも、長い文章を読ませたり、グラフや図を読み取らせたりする問題が多く出題されています。知識がなくても説明文を読めばわかる問題もありますし、読まなくても解答できるものもあります。とにかく時間がかかります。

「共通テスト」は満点を取る必要はありません。高校での学習内容を理解していれば、十分得点できます。授業を大切に、教科書の内容をしっかり定着させることが大切です。

「試作問題」が公表されています（[令和7年度試験の問題作成の方向性、試作問題等 | 独立行政法人 大学入試センター \(dnc.ac.jp\)](https://www.dnc.ac.jp)）ので、自分で取り組んでみて、出題の仕方に今から慣れてください。また、一部の教科について、校長の解答と解説もHPに掲載していますので、参考にしてください。（PWDは漢検講座と同じ）

<https://www.r-futaba.ed.jp/katsudou/zaikousei/contents-top/kyotsu-test/>

